



ものづくり広報

平成29年度「鈴鹿市ものづくり企業交流会」を開催します

市では、市内中小製造企業が有する優れた技術や製品について展示PRすることで、企業同士の交流や親睦を深め、併せてマッチングの機会を創出することを目的に、「鈴鹿市ものづくり企業交流会」を開催します。8回目を迎える今回は、鈴鹿ハンターを会場とすることで、企業関係者だけではなく、広く市民の皆様にもPRを図ります。

日時 平成30年1月21日（日） 10時～16時

ところ 鈴鹿ハンターショッピングセンター1階センターコート、サブコート、2階特設大催事場

主な内容

○企業展示会

自社の「強み」を広く発信することで、鈴鹿のものづくりの「魅力」をアピールします。30社募集予定

○第5回すずか輪ゴムグランプリ

輪ゴムのみ動力を利用した自作の車により走行距離を競うことで、自社の技術や開発力をPRし、参加企業同士の交流や親睦を深めます。また、今回は鈴鹿少年少女発明クラブで活動する小学生が、1年間の活動の集大成として自作の車を持ち寄り輪ゴムグランプリに参加します。市内の製造企業の展示や輪ゴムグランプリにおける技術者の技術力に触れることで、将来のものづくり人材の育成にもつなげます。



▲過去の企業展示会の様子

支援活動事例紹介：生産設備の故障時の初期診断ができる人材の育成

国光カーボン工業株式会社 業務内容：カーボンブラシ、機械用摺動部品の製造

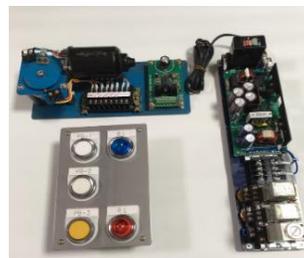
国光カーボン工業株式会社より「生産ライン設備をテスターで電流、電圧、抵抗を測定できる技術の習得」と「機械の電気図面が読め、理解ができる人材育成」の支援要請を受け、下記の内容で支援を実施しました。

支援内容

- 1.電気の基礎理論の講習（電気の種類、交流と直流、周波数、オームの法則、電気の理論）
- 2.制御回路の論理と設計手法について（ブール代数、論理演算、算術演算、演習問題）
- 3.制御回路の設計と実機の配線作業-I（AND回路、OR回路、NOT回路、HOLD回路）
- 4.制御回路の設計と実機の配線作業-II（直流モーターの正/逆転回路の設計と配線作業）
- 5.生産現場の電気設備の回路図面の理解（現稼働設備の図面を参照し、図面から動きを読み取る技術の習得）

企業様からの声

今までオペレーター業務が主で、電気の設備は触ったことがありませんでしたが、今回の講習を受け簡単な初期診断（部品交換、テスターチェック等）ができるようになり、「自前保全」の手掛かりをつかむことができました。実機での配線作業は未経験者の者がほとんどでしたが、経験することで実機に置き換えてメンテナンスやトラブル回避に役立てることができると思います。



▲支援で使用するデモ機の配線

センターでは、電気保全の習得や電気図面の読み方など「電気」に関する現場支援にも対応しますので、ぜひお問い合わせください。

企業自己診断チェックシートの活用事例を紹介します

経営者自らが定期的に「企業」のこと「経営」のこと「現場」のことを定期的に診断する道具があれば大変便利なんだが・・・の声を受け、センター独自の企業自己診断チェックシートを今年から各企業にご案内しました。半年を経過した現在のチェックシート利用結果をご紹介します。

○自社の課題が支援活動に結び付いたテーマ

	件数	テーマ名
経営体質	1	・TOP方針と目標管理の立て方
企業体質	3	・工場長の具体的な役割と管理項目について ・販路拡大のためのビジネスマッチング支援 ・工場の体質改革（生産増減にフレキシブルに対応する）
現場体質	3	・途中入社社員教育（カリキュラムは要望に合わせる） ・基幹商品の派生商品化技術支援 ・生産設備稼働率UP取り組み

○企業自己診断チェックシートを使った感想

完成度	+	<ul style="list-style-type: none"> ● 試行時の弱点が改善されている ● CH項目が妥当である ● 自己判断基準で正確・簡単・短時間だ！
	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 試作など、一品職場専用の体質診断シートを作ってほしい ● 専門用語の解説はあるが平易な用語を使ってほしい
		- ➔ + 使い勝手

企業自己診断チェックシートは、使ってみれば意外に簡単で準備もいらず、素早く自社の課題についての的を絞り知らせてくれます。

企業自己診断チェックシートを使ってみたいと思う企業はセンターまでご連絡ください。また、自己診断により把握できた自社の課題については、センターによる現場支援や人材育成支援により、その解決に向けてバックアップしますので、併せてご活用ください。

市内事業用地などの遊休地情報の提供をお願いします

本市では、市内への立地を希望する企業を支援するため、宅地建物取引業者などの協力を得て、鈴鹿市企業立地マッチング事業実施要綱に基づき、立地するための土地、建物（工場、倉庫、事務所）などの情報提供を行っています。

近年、市内では民間開発による新たな事業用地の創出が積極的に行われていることから、市内へ立地したいといった相談が多くなっています。そこで、本市では、市内の利用されていない工場用地、建物（工場、倉庫、事務所）などを有効活用するため、遊休地となった不動産情報を積極的に収集し、立地したい企業へ情報提供したいと考えています。

つきましては、市内で利用されていない工場用地、建物（工場、倉庫、事務所）などがありましたら、鈴鹿市産業振興部産業政策課（企業立地推進G）へご連絡ください。

問い合わせ：鈴鹿市産業振興部産業政策課（企業立地推進G）
 TEL： 059-382-9045 FAX： 059-382-0304
 E-mail： sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp